

# 解答・解説

## 凡例および注意点

### 解説部

- ☐ = 主語    動 = 動詞    目 = 目的語    副 = 副詞 など
- 「   」 = 訳 (場面状況を踏まえた、自然な日本語を最優先した)、あるいは強調
- (   ) = 省略可能、あるいは補足・別表現
- 【音声】 = 主に朗読における音声変化の解説
- 【文法】 = 該当箇所の重要文法事項の解説
- 【語句】 = 該当箇所の重要語句
- [ | ] = 発音。左側が発音記号。右側が目安となるカタカナ表記で、ゴシック体はアクセント
- ⇒ = 派生語・反意語 など
- ☐例 = 例文。暗唱できるようにすることを強くお勧めする

### 重要語句確認部

- ☐ = 名詞    動 = 動詞    形 = 形容詞    副 = 副詞 など
- ☐ = チェック欄
- [   ] = 発音記号
- 「   」 = 意味

解答

第1問A (各4点:計16点)

- 問1  ③
- 問2  ②
- 問3  ②
- 問4  ①

第1問B (各3点:計9点)

- 問5  ④
- 問6  ④
- 問7  ①

解説

第1問A [各4点×4問 計16点] 1人の話者の発話から場面状況を推測し、その内容に合う選択肢を選ぶ問題。配点が高く、平易でかつ2回読まれるので、落とせない問題である。1回目と2回目の朗読のあとに5秒程度の無音がある。

問1

[スクリプトと訳]

**M:** There weren't very many people on the bus, so I sat down. 「男性:バスにはあまりたくさんの人が乗っていませんでしたので、私は座りました。」

[選択肢と訳]

- ① The speaker couldn't find a seat on the bus. 「話者はバスの中で座席を見つけられなかった。」
- ② The speaker didn't see anybody on the bus. 「話者はバスの中でだれも見なかった。」
- ③ The speaker got a seat on the bus. 「話者はバスの中で座席を得た。」
- ④ The speaker saw many people on the bus. 「話者はバスの中でたくさんの人を見た。」

正解は③。発話のso以降の内容から判断する。【音声】英語では1語1語が明瞭に発音されることはなく、短縮語も頻出する。weren'tは、were notの短縮形だが、語尾のt音は母音を含まない破裂音なので、慣れていないと聞き取りづらいかもしれない。音声を繰り返し聞いてまねるとよい。【語句】not very ~ 「あまり~ない」、not ~ any 「まったく~ない」

問2

[スクリプトと訳]

**M:** Susan, I left my phone at home. Wait here. I'll be back. 「男性:スーザン、携帯を家に置いてきてしまった。ここで待っていて。戻ってくるから。」

[選択肢と訳]

- ① The speaker will ask Susan to go back.

「話者はスーザンに戻るよう頼むだろう。」

- ② The speaker will go and get his phone. 「話者は携帯電話を取りに行くだろう。」

- ③ The speaker will leave his phone. 「話者は携帯をそのままにしておくだろう。」

- ④ The speaker will wait for Susan. 「話者はスーザンを待っているだろう。」

正解は②。話者の状況をイメージできれば難しくなく。【音声】phone at homeは「フォウンナトウム」と聞こえる。子音で終わる語に母音で始まる語が続くと、こうした音声変化が起こりやすい。また、h音はとても弱い子音で、聞こえなくなることも多い。【語句】leave「残す、忘れる」、ask O to do「Oに~するよう頼む」、go and do「~しに行く」、wait for ~ 「~を待つ」

問3

[スクリプトと訳]

**M:** I didn't lose my map of London. I've just found it in my suitcase. 「男性:ロンドンの地図をなくしてはいませんでした。今ちょうど、スーツケースの中で見つけました。」

[選択肢と訳]

- ① The speaker found his suitcase in London. 「話者は自分のスーツケースをロンドンで見つけた。」
- ② The speaker has a map of London. 「話者はロンドンの地図を持っている。」
- ③ The speaker lost his suitcase in London. 「話者はロンドンでスーツケースを紛失した。」
- ④ The speaker needs to buy a map of London. 「話者はロンドンの地図を買う必要がある。」

正解は②。現在完了形は、過去が影響を与えている現在の内容を表す。ここでは「(過去から探し始めて)今ちょうど見つけた」という完了の意味。

問4

[スクリプトと訳]

**M:** Claire usually meets Thomas for lunch on Fridays, but she's too busy this week. 「男性:クレアはたいてい毎週金曜日に昼食でトマスと会うが、彼女は今週は忙しすぎる。」

[選択肢と訳]

- ① Claire cannot meet Thomas for lunch this Friday. 「クレアはこの金曜日は、昼食でトマスと会えない。」
- ② Claire hardly ever has lunch with Thomas on Fridays. 「クレアが金曜日にトマスと一緒に昼食をとることはほとんどまったくない。」
- ③ Claire usually doesn't see Thomas on Fridays. 「クレアはたいてい、毎週金曜日はトマスを見かけない。」
- ④ Claire will eat lunch with Thomas this Friday. 「クレアはこの金曜日に、トマスと一緒に昼食をとるだろう。」

正解は①。too busy「忙しすぎる」は、very busyとは違い、too busy (to do)「(~するには)忙しすぎる」の相関表現のイメージがある。複数形の(on) Fridaysは「毎週金曜日(に)」の意味。逆接の接続詞butは、重要な内容を述べる前に使われる談話標識(ディスコース・マーカー)。リスニングに限らず、出現したあとの部分にはとくに注意を払うべきである。【語句】hardly「ほとんど~ない(※準否定語。ここでは、not + ever = neverのやや弱い意味としてとらえればよい)」、see「会う、見かける」

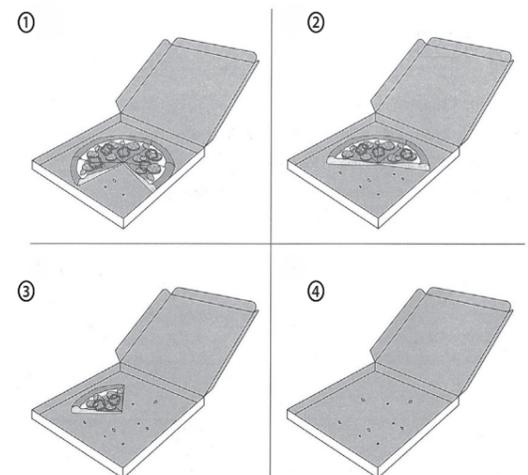
第1問B [各3点×3問 計9点] 1人の話者の発話から場面状況を推測し、その内容に合うイラストを選ぶ問題。2回読まれる。第1問Aに比べて、意味のまとまりごとのポーズが減り、多少難しくなっている。1回目と2回目の朗読の間に5秒程度の無音がある。

問5

[スクリプトと訳]

**M:** Kathy ate two pieces, and Jon ate everything else. So, nothing's left. 「男性:キャシーは2つ食べ、ジョンはほかのすべてを食べた。だから、何も残っていない。」

[選択肢と訳]



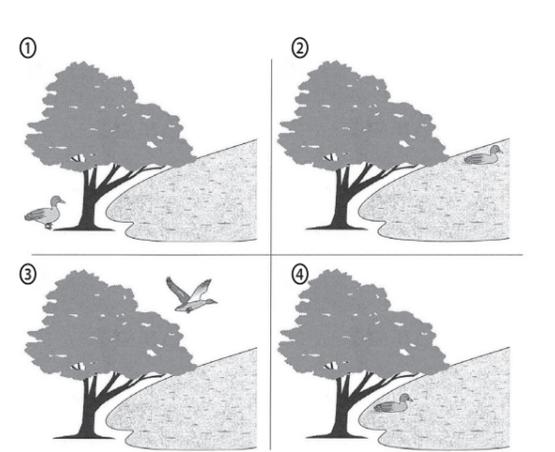
正解は②。2つめの文だけでも正解がわかる。結果を表す副詞so「だから」も談話標識に利用できる。

問6

[スクリプトと訳]

**M:** Look at that bird on the lake. It's under the tree. 「男性:湖の上のあの鳥を見てごらん。木の下にいるよ。」

[選択肢と訳]



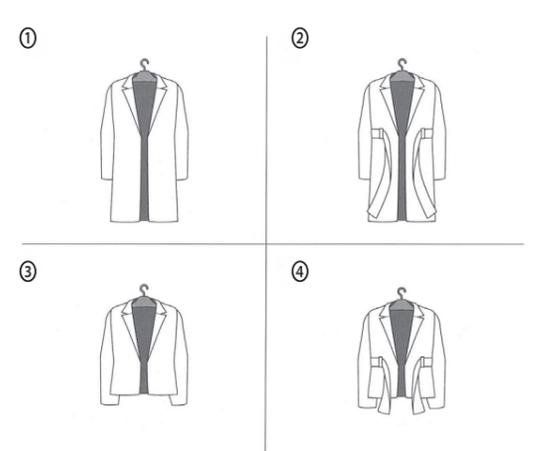
正解は④。onやunderの前置詞の意味を問う問題といえる。onは「接触」の意味で覚えておく。

問7

[スクリプトと訳]

**M:** I prefer this one. There's no belt, and it's longer. 「男性:僕はこれの方がいい。ベルトがなく、より長いから。」

[選択肢と訳]



正解は①。no beltとlongerから判断する。【音声】会話においては、内容的に重要な部分は強く、そうではない部分は弱く発音される。聞き取りやすい部分をしっかりと聞き取り、理解することが大切。この2つの部分も、強く発音されている。【語句】prefer O (to ~)「(~よりも)Oを好む(※ラテン語由来の、比較の意味を含む動詞)」

※第1問の重要語句はp.9を確認すること。